



お元気ですか！  
志村 たかよし です

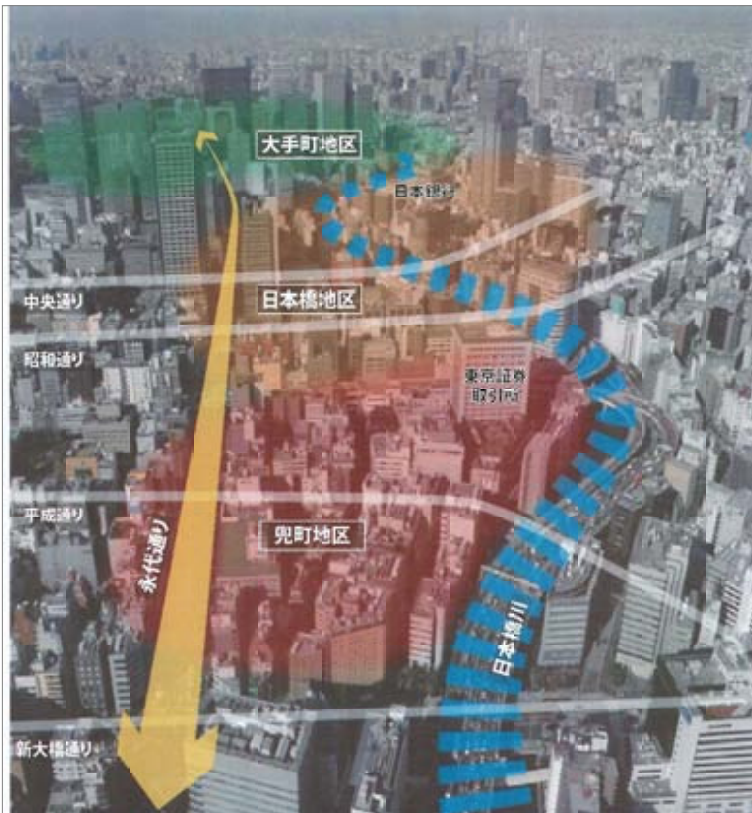
第762号 2015年10月25日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

## 日本橋兜町の再開発

# 財界・デベロッパー主導の計画を批判



投資と成長が生まれる街づくり協議会

## 吉田不曇副区長がオブザーバー参加

9月16日の一般質問で、私は日本橋兜町の再開発の動きについて取り上げました。

日本橋兜町のまちづくりは、バブル破たんによって「金融街構想」がお蔵入りになって以来、大きな進展がありませんでした。

### 財界・デベロッパーが動き出す

ところが、平和不動産が、2014年5月に再開発の方向性を示した「日本橋兜町街づくりビジョン」を公表してから動き始めました。

この「ビジョン」で打ち出して

いるのは「人が集い、投資と成長が生まれる街づくり」で、7ヶ月後の昨年12月には「投資と成長が生まれる街づくり協議会」が発足しました。

「協議会」の構成は日経連名誉会長の奥田碩トヨタ自動車相談役を座長に財界、不動産業界のそうそうたるメンバー（左表）がそろい、そこに吉田不曇副区長がオブザーバー参加しているのです。

### 投資と成長が生まれる街づくり協議会 委員等名簿

(座長)

奥田 碩 トヨタ自動車株式会社 相談役

(委員)

斉藤 惇 株式会社日本取引所グループ  
取締役代表執行役グループCEO

古賀信行 日本証券業協会 証券戦略会議議長 副会長  
野村ホールディングス株式会社 取締役会長

神宮知茂 株式会社みずほ銀行常務執行役員平成27年3月まで  
大串桂一郎 株式会社みずほ銀行 常務執行役員 (当時)

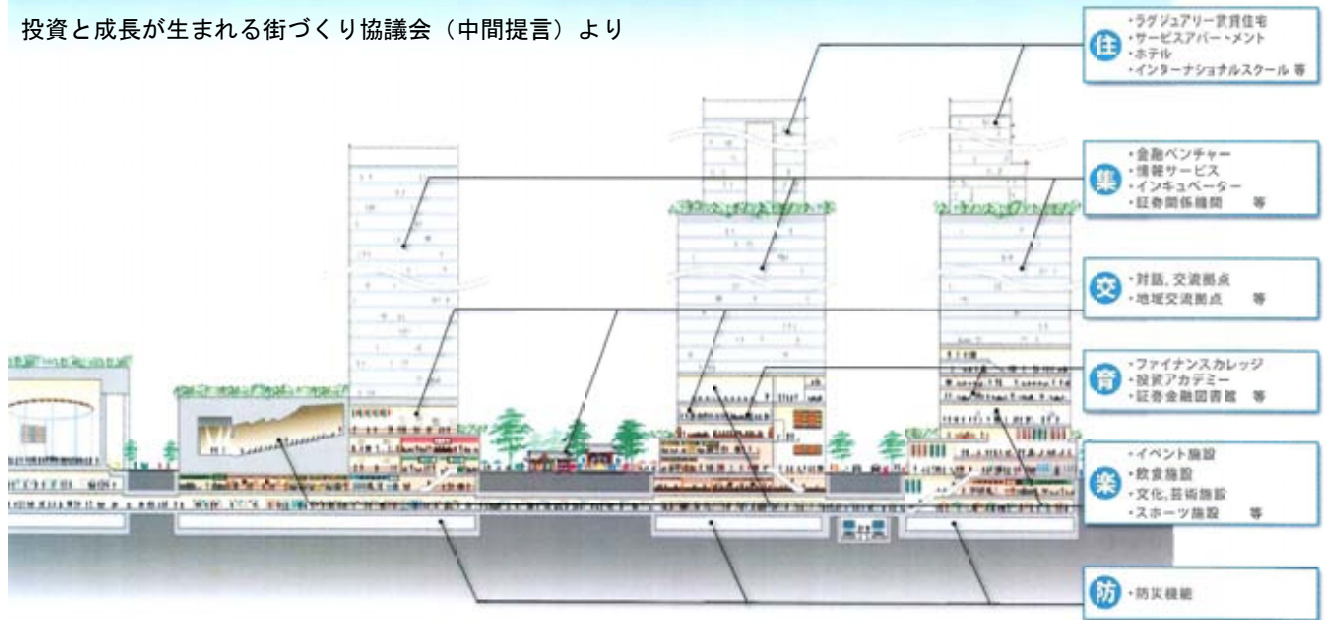
安 陽太郎 十字屋ホールディングス株式会社 代表取締役社長

合場 直人 三菱地所株式会社 代表取締役専務執行役員

岩熊 博之 平和不動産株式会社 代表取締役社長

(オブザーバー)

吉田 不曇 中央区副区長 ←



■日本橋兜町の将来像

（一面「写真」の説明）

投資と成長が生まれる街づくり協議会（中間提言）より

JPX・東証・証券関係機関の集積

大手町・丸の内地区、日本橋地区とのリンケージ



「東京国際金融センター」の一翼として

資産運用等を担う金融人材が育つ街づくり

外国人等の金融人材が住まう街づくり



金融ベンチャー企業や情報サービス企業等が集い、投資家と企業の対話交流を促進

「協議会」は、今年4月に「中間報告」を発表しました。それは、平和不動産が打ち出した「ビジョン」を基にしたもので、「日本橋兜町の新しい主役」を「資産運用を中心とした金融人」に置き、「資産運用等を担う金融人材が育つ街づくり。外国人等の金融人材が住まう街づくり」を、政府の「国家戦略特区」制度を活用してスピーディに進行し

地元軽視で動き始めた再開発

ていくことを提案し、3棟の超高層ビルのイメージ図（上図）が描かれています。

これらの動きを地元町会の方々が知ったのは「国家戦略特区」にエントリーした後でした。町会は、今年8月に初めて「兜町街づくり意見交換会」を開かせたという事です。まさに、地元軽視、大企業・財界主導のまちづくりです。私は「日本橋兜町のまちづくりは



吉田副区長を批判=9/16

大企業と財界主導ではないか」「吉田副区長が『投資と成長が生まれる街づくり協議会』のオプザーバーとなった経緯と、どのような役割と任務を果たしているのか」と質問したところ、吉田副区長は「協議会は兜町エリアの活性化を通じて、日本の証券・金融マーケットの発展に資する街づくりのあり方について協議

するものと認識している」「オプザーバー参加は要請を受け出席したもので特に役割や任務をおったものではない」と答弁しました。私は、大企業・財界の要望に沿って大規模開発を進める「中央区のまちづくり」を厳しく批判し、「住民本位のまちづくり」への抜本的な転換を求めました。

「意見」「要望など」お気軽に「連絡ください」(03-6360-0000)